

賛成



佐藤 幸三 議員

新たなまちづくり予算を評価

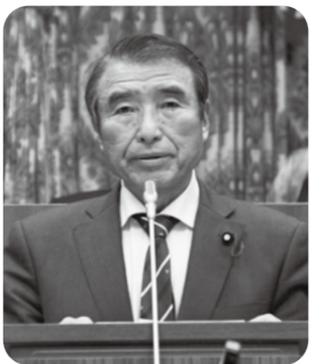
令和5年度予算審査特別委員会は、議会側からの活発な質疑に対して執行部からは予算付けの経緯のきめ細かな説明、並びに関連資料が準備されていたことから、各課連携し充分審議された予算組みであったと感じられました。特に、一般会計歳入予算については、13・4%増の79億7千万円という大型の予算編成ができたこと。その中には、不時の支出に備えた財源が十分に確保されていることを評価します。

歳出予算については、成田空港機能強化策に伴い、移転を余儀なくされた住民に対しての移転対策支援や空港を見下ろす公園事業の着手、圏央道の開通およびインターチェンジの開通を見据えた地域経済活性化拠点整備事業の着手など、本町の将来を見据えた無理

のない予算組みがされています。南玉造地先の盛土崩落現場においても予算計上され、再発防止工事が始まることや中村地区の高台に眺望公園を整備するための本格的調査が始まることなど、さまざまにまちづくり施策予算が多く計上されており、今本町は圏央道の開通と成田空港機能強化に伴い、将来を見据えた大きな、今後無いであろうビッグチャンスを迎えたと捉えてもいいでしょう。

本町が大きく変わろうとする中で、近隣市町・空港・町民などとの間に入り、上手くバランスを保って下さっている関係職員の皆さんには深く感謝しますとともに、今後もより一層のご尽力を期待します。

賛成



菅澤 博隆 議員

積極的姿勢の予算を評価

一般会計は、総額79億7197万3千円の大きな予算となりました。これは成田空港の機能強化策や、圏央道の整備に対応して、平山町長の町政運営に係る積極的な姿勢の現れであると評価します。

財政調整基金については、本町の保有残高は、18億2900万円余りとなります。総務省は標準財政規模の10〜20%が適正であるとしているため、本町の場合、約9億4000万円余りとなります。今後、ある程度の財政調整基金の保有は必要ですが、町民の生活を下支えする思い切った予算措置も必要であり、本基金が適切に使われ、運用されるよう求めます。

具体的な施策については、物流拠点開発や、圏央道IC設置に伴う本町への集客の受け入れと結び付けた、地域経済活性化拠点整備

事業着手などは、今後の町の方向性を示す極めて重要な案件と関わりますので、関係する住民の方々の丁寧な配慮を求めます。

子育て支援、教育支援、病児保育支援については、継続を求めます。

高齢者支援として新たに带状疱疹ワクチンの接種費用一部助成の予算化がされ、県内でも先進的な取り組みで評価します。

現在あらゆる資材価格が高騰しており、本町においても農業者を始め、多くの事業者、町民の皆様にもその厳しい状況の影響があります。苦しい生活を強いられています。国の支援金を活用するなど、さらなる支援策を求めます。

南玉造崩落現場の対策工事が実施されますが、さらなる建設費土埋立対策強化を求めます。

賛成



高坂 恭子 議員

将来に希望がもてる予算

今年の一般会計は、79億7197万円余り、前年比13・4%増の今までない大きな予算ではないかと思えます。ち密な積み重ねと努力の結果だと将来に希望がもてます。

災害に対しての防災費は前年度比で1千万円余りの増額ですが、いつ起こるか分からない災害に対して十分な予防対策をお願いします。

この2点は空港まちづくり課の皆様のご協力に感謝するものです。欲を言えば、冒険できるワンランク上の公園を視野に入れていただけると幸いです。

次に、千葉氏、千田庄の歴史講座が7年目に入りました。同じテーマでいろいろな角度から学べる講座は、多古町独自のものです。今までの歴史講座、15講座分を冊子あるいは書籍に残す予算が計上されたことを評価します。

●あじさい公園に子ども向けの遊具が設置され、お城を想像できるとてもユニークな遊具だと思いが歓迎します。景色の良い公園で遊具で遊べることは最高です。

●志民活動の予算が200万円から250万円となり、50万円追加するのに10年かかりましたが、非常に評価します。

3月17日の各社新聞報道によると、「空港一体の物流拠点開発、多古町にグッドマングループ（外資系総合不動産大手）規制緩和で第1号計画」と大きく写真と見出しが各紙面に掲載されています。平山町長就任1年目にして積み重ねられてきたことに敬意を表し、賛成討論とします。

賛成



鶴澤 茂 議員

総合的に配慮された予算

成田空港機能強化や圏央道開通は、本町にとって最大のチャンスです。このチャンスを最大限活用するための予算編成が随所に見られ、攻めの姿勢がうかがえます。

鷹ノ巣・二本松線、南玉造線道路改良工事費、染井・間倉線の概略設計費は、空港に直接関わる道路網であり、投資です。

多古町、芝山町両町で計画していた（仮称）空港を見下ろす公園は、芝山町の一時休止を受け、今後は本町独自で整備する予算になっていきますが、本町に人の流れを誘導するもので賛成です。

教育規模適正化検討業務委託料は、中長期的な人口動向を見極めたことになると思いますが、教育の根本にかかわることなので、慎重に進めて欲しいと思います。

帯状疱疹ワクチン接種費用の助成、デマンドタクシーの充実、福祉タクシー助成、シルバー人材センター助成金増額は、障がいのある方、高齢者の社会参加にも配慮がみられます。空港・圏央道に対応する一方で、子育て、高齢者・障害のある方対策まで総合的に配慮された予算であり賛成いたします。

先日発表の飯世・鷹ノ巣地区の国際物流基地計画は、空港の裏側と言われた本町に初めて差し込む光です。計画を進める上で地権者の理解と協力が不可欠です。丁寧な説明と信頼関係の構築を求めます。